

作成日 2023 年 11 月 28 日
(最終更新日 2024 年 1 月 11 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 4904

課題名 : 眼サルコイドーシス長期視力予後の予測因子の検討

1. 研究の対象

2010 年 5 月 26 日～2023 年 11 月 20 日の間に当院で眼サルコイドーシスと診断された方

2. 研究期間

2024 年 1 月 (研究実施許可日) ～2025 年 3 月

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 2024 年 1 月 11 日

提供開始予定日 : 該当なし

4. 研究目的

サルコイドーシスは非乾酪性類上皮肉芽腫を呈する原因不明の全身疾患です。眼病変の出現頻度は肺病変に次いで多く、日本では 50～90%であるといわれています。眼症状が初発であることも少なくないことから、眼科の役割が重要になっています。眼サルコイドーシスは日本におけるぶどう膜炎のうち最も頻度が高く、前眼部から後眼部さらには視神経に至る、汎ぶどう膜炎の形態を呈することが多い疾患です。多くの場合、両眼性であり、20～30 歳代と 60 歳代に緩やかなピークを持つ二峰性の分布を示し、特に 50 歳代以降は女性に多いとされます。初診時の炎症像と、その後の経過で出現した眼合併症および視力予後の関連性の研究を行うことで、今後のより適切な診断および治療に繋げていきます。

5. 研究方法

診療録上の情報を過去にさかのぼり、初診時の状況とその後の経過を比較検討します。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報 : 病歴、治療歴、検査結果、視力情報等

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

本校単独研究

9. 研究費・利益相反（企業等との利害関係）について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

外部との経済的な利益関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：防衛医科大学校病院眼科 小山智之
住所：〒359-8513 埼玉県所沢市並木3-2
連絡先：04-2995-1511（内線5403）
平日0830時から1700時まで

当院の研究責任者：防衛医科大学校病院眼科 竹内 大